

軍事機密

參電第八八五號

本土決戰根本義ノ徹底ニ關ス件

昭和二十年六月二十日

參謀次長

○
曩ニ第一、第二總軍及航空總軍ノ統帥發動以來
本土ニ於ケル作戰準備各方面共ニ著々進捗ヲ
見ツツアルハ同慶ノ至リニ存ス
顧ミテ南東方面敵反攻開始以來沖繩作戰ニ至
ル幾多ノ戰歴ニ徴スルニ作戰ノ成果ハ一ニ首
將ノ透徹強烈ナル統帥思想及之ヲ基調トシ全
軍ニ一貫徹底セル形而上下ノ作戰準備ノ如何
ニ懸ルヲ痛感セシメラルル次第ナリ
各總軍ハ夙ニ本件ヲ重視セラレ強力ナル統帥
ノ下本土決戰ノ大任完遂ニ邁進セラレツツア
ルハ深ク意ヲ強クシアル所ナルカ第兵備ニ

伴フ戦闘序列發令セラルルノ機ニ臨ミ更メテ
 左記主旨ニ基ク本土決戦根本義ノ透徹ヲ期シ
 度之ヲ現況ニ即スル具現ニ關シ此上共各
 總軍ノ深甚ナル配慮相煩度依命
 一本土決戦ハ正ニ字義通ノ決戦ニシテ上下舉
 テ絶大ナル闘魂ヲ振起シ犠牲ノ如何ニ顧念
 セス徹頭徹尾決勝ノ一途ニ邁進ス
 決戦方面ニ於ケル沿岸配備兵團等ニシテ苟
 モ戦況苦難ノ故ヲ以テ當面ノ決戦ヲ避ケ後
 退ニ依リ持久ヲ策スルカ如キ觀念ハ本土決
 戦ノ真義ニ反スルモノナリ既チ本土決戦
 ニ於ケル帝國陸軍ハ舉軍敵撃滅ニ邁進スル
 ノ一途アルノミ宜シク自己健存ノ思想ノ如
 キハ之ヲ斷乎排撃シ其任務ノ明示スル處ニ
 決勝ヲ期シ各人各部隊皆我身ヲ捨て敵ヲ

撃ツノ戦法ニ依ルヘキモノトス
二本土ニ於ケル帝國陸軍ハ敵ノ來寇ヲ待ツ間
ハ決勝準備ノ態勢ニ在ルモノニシテ敵兵上
陸ヲ敢テセハ全面的ニ舉軍攻勢ヲ發動シテ
海上及沿岸ニ於テ必滅ヲ期ス
沿岸配備兵團及部隊ハ其任務ニ基キ戰鬥ノ
要領ヲ律スヘキモ苟ニ要域ノ領有乃至ハ時
間的持久ノ如キ守勢の觀念バ之ヲ根本的ニ
拂拭スヘキモノトス
此際高等統帥以下夫々其任務ニ基キ英斷以
テ主作戰方面或ハ主決戰方面ニ對スル縱横
ニ互ル戦力ノ集中機動ヲ敢行シ以テ徹底的
重點形成ヲ策スルヲ要ス
三航空及水上部隊ハ舉ケテ敵ヲ海上ニ撃滅セ
ンコトヲ期シ陸上作戰ニ任スルモノハ成シ

得ル限リ水際ニ於ケル敵、必然的弱點ヲ飽
迄追求スルヲ作戰指導ノ主眼トシ之ヲ沿岸
ニ壓倒撃滅センコトヲ圖ルヘキモノトス
故ニ沿岸兵團作戰指導ノ主眼ハ敵カ橋頭陣
地占據ノ以前ニ己ハヲ得サルモ其ノ過程ニ
於テ之ヲ破壊スルニ在リ
機動兵團ノ整齊タル機動又ハ其展開援護ノ
如キハ上級司令官ノ全般ノ作戰指導ニ立脚
スル任務附與ニ依リテ生起スヘキモノトス
離島作戰ノ特殊事情ニ基ク艦砲射撃ニ關ス
ル戰訓等ヲ重視スルノ餘リ其配備並戰鬪指
揮ニ關シ前二項所述ノ主旨ニ反スルモノア
ルカ如キハ是正スルヲ要ス
四 本二決戰ニ於ケル航空ト地上軍トノ協同ニ
關シテハ其根本觀念及相互戰鬪上ノ連繫ニ
於テ特ニ高等司令部相互間ニ於テ緊密ナル

コトヲ要シ兩者相互眞ニ克ク對者、戰略戰
術ヲ構想及作戰指導ノ計畫ニ關シ詳知諒解
シ綜合ノ戰果ヲシテ眞ニ決戰目的ノ達成ニ
些ノ遺憾ナカラシムヘキモトス之カ爲
先ツ作戰準備期間ニ於ケル形而上下ニ互ル
相互ノ連繫協同ヲ以テ第一ノ要件タラシム
ヘキモトス

通電先 一總、二總、航總、

參考、達、築船司、内鐵、德、榮、威、教、總、